

令和6年度 第1回 守山市男女共同参画審議会 会議録

日 時 令和6年5月15日（水） 午前10時から午後0時10分まで

場 所 市役所2階防災会議室

出席委員 大東委員、津田委員、石原委員、川那辺委員、佐々木委員、竹村委員、團野委員、中井(英)委員、中井(美)委員、本山委員 以上10名

欠席委員 里内委員、田口委員

事務局 木村部長、森口次長、大隅課長、貝増係長、村上事務員

傍聴者 なし

会議次第

議題

- (1) 守山市男女共同参画市民意識調査案について
- (2) 審議会等における女性委員の登用状況について
- (3) 令和6年度男女共同参画事業について

会議要旨

| 内容         | 議事内容         |
|------------|--------------|
| 1 開 会      | 大隅課長         |
| 2 あいさつ     | 木村部長         |
| 3 委員紹介     | 大隅課長         |
| 4 会長・副会長選出 | 大東会長、津田副会長選出 |
| 5 会長挨拶     | 大東会長         |
| 6 議事       | 事務局          |
| 7 閉会あいさつ   | 大東会長         |

6 議事内容

| 発言者 | 議事内容   |
|-----|--|
| 事務局 | <p>(1) 守山市男女共同参画市民意識調査案について</p> <p><b>資料1に基づき説明</b></p>  |
| 委員  | <p>属性の「配偶者・パートナーの職業」と「一番下の子ども」の下に注釈がありますが、これは、項目名の上の方が分かりやすいと思いますがいかがか。</p>  |
| 事務局 | <p>ご指摘のとおりですので、修正します。</p>  |
| 委員  | <p>回答率向上のため、1つの計画につき、100円のデジタルギフトを付与するとのことであるが、この目的だけでどれくらいの効果が期待できると考えているのか。</p>  |
| 事務局 | <p>回答率向上を図るのも大切であると考えているが、それよりも、市民の方にDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を理解していただくことが大きな目的であります。身近にあるスマートフォンで回答できることを知っていただける機会と考え、インターネット回答を推進させていただこうと考えています。</p> |
| 委員  | <p>男女共同参画と人権・同和問題との2つの市民意識調査を各々2,000人に送付するのか。</p>  |
| 事務局 | <p>同一の方に男女共同参画と人権・同和問題2つの市民意識調査を送付します。</p>   |
| 委員  | <p>設問数は各々どれくらいですか。</p>   |
| 事務局 | <p>現段階では、人権・同和問題が22問で、男女共同参画が27問で考えています。</p>   |
| 委員  | <p>設問数が多く回答するのにかなりの労力があるかと感じますが、良い方法が他にないのかなと感じます。その点どのように考えていますか。</p>   |
| 事務局 | <p>前回も同じように2種類の質問を同じ方に送付しており、今回も中間改定に向けた市民意識調査ですので、同じ形態を取っています。次回は計画の全面改定になりますので、その際は、2つの計画の市民意識調査を別々の方に送付することも検討したいと考えます。</p>                         |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | <p>今回は2つの市民意識調査を同一の方に送付されるとのことで、2つの調査回答数のボリュームはありますが、インターネット回答もできるとのことから、前回は回答率が低かった若い世代の回答が、デジタルで行えるようになれば、少しでも増えることを期待したいと思います。</p>   |
| 委員  | <p>属性の9番ですが、「一番下の子ども」となっていますが、「年少」という表現等の方が適切ではないか。</p>   |
| 事務局 | <p>「最年少の子ども」など検討の上、適切な表現に変えたいと思います。</p>   |
| 委員  | <p>調査項目の中に、女性が自治会長やPTA会長など地域活動のリーダーになるためにはどのようなことが必要ですかとの質問ですが、女性の会長等多くいるかと思うのですが、質問の意図は何でしょうか。</p> <p>また、問19のDV（ドメスティック・バイオレンス）については、選択肢3で、人前で馬鹿にしたり命令するような口調でものを言ったりするという記載があるが、人前でなくても、2人だけであっても、馬鹿にしたり命令するような口調でものを言ったりする場合の方が多く感じますが、人前と人前でない状況と両方を加味した表現にした方がよいのではないか。</p>  |
| 事務局 | <p>なぜ女性の自治会長やPTA会長などのことを質問しているかについては、実際、守山市では、女性の自治会長は少なく、71自治会で3人程度という状況が続いています。そこで、その点をどのように改善したらよいのかということが課題としてあります。また、他の会長職も全体的に女性は少ない状況です。そこで、前回との変化を統計として取りたいとの目的で、再掲しています。今回の意識調査で、その結果を分析し、実態的にも男女の偏りが解消されていると判断できるようであれば、必要はないかと考えます。</p> <p>次に、問19のDV（ドメスティック・バイオレンス）については、人前や人前でない状況や2人だけでもDVの状況はありますので、総合的に勘案して当該箇所の選択肢の表現は再考します。</p> |
| 委員  | <p>男性の育児休業についてだが、いま男性で育児休業を取りたいという方の割合が高くなっていると認識しており、しかし、取得率はまだ低い状態である。取りたくても取れないという状況になっていると思うので、なぜ取れないのかということを経験に入れてもよいと考えますがいかがか。</p>   |
| 事務局 | <p>意識調査は、男女、年齢層さまざまな方に行いますが、男性の育児休業の取得促進について、男女や年齢層に関わらず、さまざまな観点から意見を聞くことは、重要なことだと考えます。男性の育児休業について、調査項目の検討をしたいと思います。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | 属性の性別について、1 男性、2 女性、3 その他、4 回答しないとなっているが、一般的には、その他ではなく、自由記述が多いと思うが、その点に関してはいかがか。  |
| 事務局 | 前回との比較するためにも、この記載にしています。  |
| 会長  | 自由記載にしたとしても、多くの方が自由に書かれることはないかと思うので、集計や統計の際にも、支障があるとは思いませんので、検討お願いします。  |
| 事務局 | 例えば、LGBTQの方に配慮することも含まれているのかと思います。この点について自由記載への変更を検討します。   |
| 事務局 | <b>(2) 審議会等における女性委員の登用状況について</b><br><b>資料 2 に基づき説明</b>  |
| 委員  | 審議会等における女性委員の登用率を40%と目指されてきた中で、どういう取組をされてきたのか状況を教えてほしい。   |
| 事務局 | 審議会委員は、各種団体や、企業等の代表者がなられているが、必ずしも会長や事務局長などの役職を限定しているわけではなく、その団体を代表される委員を推薦していただくよう、担当課を通じて依頼をしています。また、毎年各審議会等の担当課に女性委員の登用を依頼している。学識経験者で女性の少ない分野においても、女性委員の発掘を行っていただいております。その分野においても中期的に改善を期待できます。毎年継続して、担当課に依頼し、委員の登用について、議論することで、40%を達成できるように推進している。 |
| 委員  | 40%という目標を立ててはおられるのだが、審議会や協議会によっては、やはり各々特性がある。理想は、40%や50%ではあるが、それを最終目標にしつつ、可能なところから近づける形でよいかと感じている。<br>会議の中で、女性がまったくいない、男性がまったくいない場合やどちらかが少なすぎて、各々の意見が聞き入れられないのは問題ではありますので、まずは、そのようなことがないようにすることが基準と思います。意見として申し上げます。                                  |
| 委員  | 目標40%というのは、なぜこの目標値を設定されているのですか。   |
| 事務局 | 国の第5次男女共同参画基本計画や、県の男女共同参画に関する計画においても40%以上と掲げられています。   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>(3) 令和6年度男女共同参画事業について</p> <p><b>資料3に基づき説明</b></p>  |
| 委員  | <p>子育てママの再就職応援セミナーについてですが、好評ではあるが、参加者が微増に留まっているとのことではありますが、平日開催であるので、ZOOMといったものを活用してもなかなか参加しづらいのではないかと思います。</p> <p>会場開催をされるのであれば、動画配信サービスを取り入れられたら、好きな時間に視聴できるので、そういったことも検討いただけたらと思います。</p> |
| 事務局 | <p>現在、開催時期や、内容、会場開催とZOOM開催の併用など検討していきたいと考えています。</p> <p>また、委員が提案されたように、動画配信の検討もする必要があると考えます。</p>   |
| 会長  | <p>動画配信も現在の社会状況では、必要なツールではあると思います。</p> <p>また、会場で研修をする場合は、研修だけに留まらず、情報交換会のようなもので、参加者同士の交流があってもよいかと考えます。一過性のものに留めず、継続性や相互性のあるものにしていけたらと感じます。</p>  |
| 委員  | <p>男女共同参画地域研修会についてですが、各学区で、毎年講演が行われている。受講された方が各自治会に持ち帰り、自治会に広げていただけるとよいのであるが、なかなか難しい状況がある。現状では参加された方は、意識は高まるがそうでない方は変化がない状態になるが、その点、工夫が必要ではないか。</p>   |
| 事務局 | <p>男女共同参画地域研修会に参加される自治会の方は、確かに限定されています。</p> <p>したがって毎年、各自治会において自治会別人権学習会を開催されているが、例えば、人権教育啓発講師団講師においても、男女共同参画や女性活躍推進について、講演をしていただけるので、自治会別人権学習会の場で、男女共同参画についてもテーマに取り上げていただきたいと考えている。</p>    |
| 閉会  | <p><b>(4) その他について</b></p> <p>次回の審議会日程：令和6年10月頃に開催予定</p>   |